

布津笑楽校だより

第14号

令和6年1月31日
南島原市立布津小学校
文責：校長 横田秀富

「立腰タイム」と「百ます計算」への取組を始めました…。

子どもたちの「学びに向かう基本姿勢」を構築していく一つの方策として、3学期は、全校で統一して「立腰タイム」と「百ます計算」を実施しています。心を落ち着け、よい姿勢で学びに向かうために「立腰」を、学びの基礎「読み・書き・計算 反復練習」の実践の第一歩として「百ます計算」に取り組みます。

「立腰タイム」・「百ます計算」を実施する目的は以下のとおりです。

立腰とは

○体の中心部にある腰骨を立てることで。

立腰の要領

○まず、お尻を後ろに引き、次に腰骨の中心を前へ突き出す。最後に下腹に力を入れて持続します。

立腰の効果

○この姿勢を一日中続けることによって、人間には集中力と持続力が身に付き、その上さらに判断力も明晰になります。そればかりか一段と行動力のある人間になります。立腰姿勢を続けることでしゃんとした心(性根)が育つのです。

百ます計算

○百ます計算は計算力を鍛えるだけでなく、集中力・持続力・自己学力の向上の効果があります。

○百ます計算・音読により学習への構えが確立されていきます。

○「読み・書き・計算」で情緒が安定します。

○基礎基本というものは反復によってしか定着できません。

※2年生はたし算(1けた+1けた)で、3~6年生はかけ算(1けた×1けた)で実施しています。

制限時間は3分で頑張っています。

立腰タイムは、8時始業のチャイム後すぐにBGM(close to you セナのテーマ)とともに静かに目を閉じて約2分間。百ます計算は、朝の算数タイムで取り組むようにしています。継続して取り組んでいきます。百ます計算を家でもチャレンジした子もいるようです。

大谷選手からグローブが夢を乗せて届きました…!

さて、昨年末、冬休みに入ってからでしたが、本校にも大谷選手からグローブが3つ届きました。学年ごとに順番を決めて、希望する子どもたちがグローブを使ってキャッチボールをしています。また、自分の夢を叶え、アメリカのメジャーリーグで活躍している大谷選手へのメッセージや自分の夢を書いて貼れるように掲示板を正面玄関に設置しています。子どもたちのメッセージが少しずつ増えてきています。一人でも多くの子もたちが自分の夢をもち、夢を叶える努力をしていくきっかけになると、大谷選手も喜んでくださることと思います。大谷選手の今後ますますのご活躍を祈念し、グローブを大切にしていきます。大谷選手は、実績も生き方もすばらしい選手ですね。



☆布津笑楽校ミニ日記

1/11 書初め会・展示

校内での書初め会を実施しました。3～6年生は体育館で毛筆にて、1・2年生は各教室で硬筆にて教科書の手本を参考にして書初めに取り組みました。下部のミニギャラリーの写真のように各教室前の廊下に展示しました。

1/22 伝統文化教室

6年生が日本の伝統文化(茶道・囲碁)を学ぶ機会として毎年実施しています。今回は、2グループに分かれて囲碁・茶道の体験をしました。ゲストティーチャーの方々のおかげで大変貴重な体験ができることは本当に有難く、感謝でいっぱいです。

1/19 避難訓練

島原警察署所属のスクールサポーターを講師に招き、「不審者対策」の避難訓練を実施しました。不審な人に出会ったときは一定の距離を保ち、異変を感じたら、ランドセルも脱ぎ捨てて必死で逃げる。また、防犯ブザーを鳴らしたり大人の人に助けを求めたりすることを学びました。特に大切な生命を守るためにも防犯ブザーは、学年に関係なくもつことが大切だとお話がありました。防犯ブザーの動作確認も定期的に行うようにアドバイスもありました。

1/23 給食集会

1月24日～30日まで学校給食週間です。栄養教諭が来校して、給食の歴史や食事をするときのマナーについての〇×クイズを交えた話がありました。調理に使う道具も持参してくださいました。食べる物に困ることはなく、飽食の時代ともいわれている現代。フードロスという社会問題もあります。「感謝して食べる」「残さず食べる」ことも給食では、繰り返し指導しています。ご家庭でも「食」について話題にしてみてください…。

☆☆布津笑楽校ミニギャラリー☆☆

1/24 雪☁

朝から雪を手に登校してくる児童もいました。めったに降らない雪。喜ぶ子どもたち。ミニ雪だるまができていました。

昼休みに元気に外で体を動かして遊んでいる子どもたち。
寒さに負けないたくましい心と体を育てるチャンスです。